



あなたの生き残り度はどのくらい？ 地震や水害への備え度をチェックしてみませんか？

タイプの違う災害ですから災害の特徴に合わせた備えが必要です！

わたしたちは、災害へのあなたの備え度がチェック出来る仕組みとして地震備えチェック表と水害備えチェック表を開発しました。これは簡単にWeb上や紙に回答した結果、「備え」能力を判定する点数が出ます。

そしてその点数によって自分が全国や自分の住む町で何番なのかがわかります。このシステムは継続的に備え能力がUpしているかどうかをチェックできます。是非皆さんもやってみてください。

携帯電話やからもできます
地震備え度チェックはこちら↓



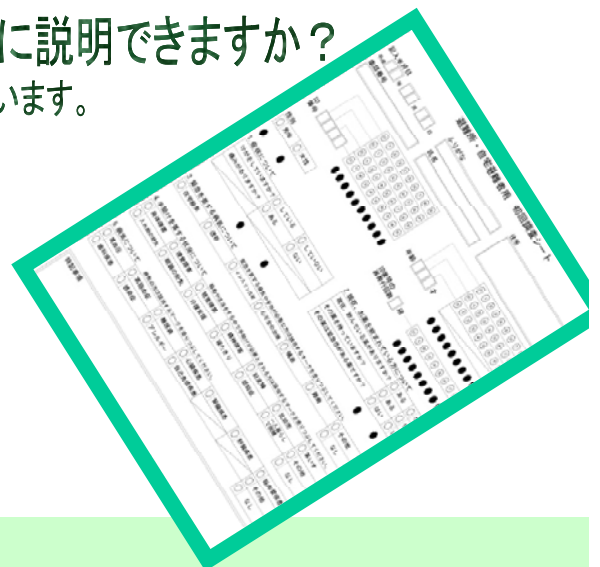
携帯電話からもできます
水害備え度チェックはこちら↓



http://www.coe-cnas.jp/group_info/checktop.html

避難した先で、あなたの健康状態を医療者に説明できますか？

避難所において、健康状態を伝えるためのシートを開発しています。
シートを使ってみた感想を教えてください。



こぼれ話

9月27-10月1日、オーストラリアのケアンズで行われたアジア環太平洋災害と緊急時に関する看護ネットワーク会議(Asia Pacific Disaster and Emergency nursing network : APEDNN)にて、本学が実践している中学生への防災(減災)教育について紹介しましたところ、多くの国々の看護課長や研究者から高い評価を受けました。アジアの多くの国々でも多くの災害が頻発していますが、備えに関しては十分でない状況であり、私たちの経験に大変興味深く関心を持たれていました。わたしたちの開発したプログラムを多くの国々が利用したいといっていますので今後は連携していく重要性を感じましたし、知り合った多くの方々とも連携していけると思っています。

兵庫県立大学 地域ケア開発研究所のご紹介

University of Hyogo, Research Institute of Nursing Care for



WHO災害と健康危機管理に関する看護協力センター
WHO Collaborating Center for Nursing in Disasters and Health Emergency Management

兵庫県立大学地域ケア開発研究所

わたしたちのキャンパスは、JR明石駅からバスで10分ほどの所で兵庫県がんセンターの隣に位置し、敷地は神戸市西区玉津との境にあります。阪神淡路大震災当時には、兵庫県にあった看護大学は本学だけであり、そこから生まれた「災害看護」の知識と技術を今も多くの看護職や地域住民の皆さんに提供しています。

地域ケア実践研究部門

▶まちの保健室 准教授 神崎初美

兵庫県看護協会活動の拠点として、また看護学研究科と連携して専門領域(高齢者・糖尿病・母性・小児・在宅・がん・口腔・こころ)の「まちの保健室」を展開しています。

毎月第1金曜午後は県内看護師と共に「ボランティア看護師によるまちの保健室を実施しています。口コミなどで利用者が増え、いまではリピーターも多く、近隣住民のライフサポーターとして重要な役割を果たすようになっていきます。

大学教員による「専門まちの保健室」はそれぞれ予約制で月1~2回実施しています。

↓運動療法士さんの協力を得て実施しているストレッチも好評



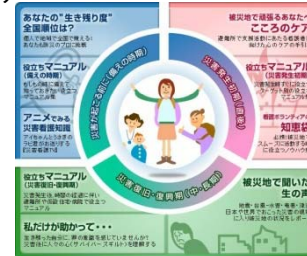
広域ケア開発研究部門

▶災害看護 教授 山本あい子

災害後の医療・看護ケア提供に必要な情報を蓄積し、かつ稼働可能な看護支援提供システムを構築することを目的として活動しています。

本研究所は、阪神淡路大震災後に継続して実践してきた活動や研究が認められ2007年5月24日WHO災害と健康危機管理に関する看護協力センターに指定されました。

現在も、世界の災害看護に関する拠点として活動し続けています



災害看護



災害後の医療・看護ケア提供に必要な情報を蓄積し、かつ稼働可能な看護支援提供システムを構築する

<http://www.coe-cnas.jp/>

▶遠隔看護 准教授 神崎初美

遠隔看護とは情報通信技術(Information Technology)を手段とした、例えば在宅と医療機関などの遠隔地の間で結ばれる看護ケア実践のことをいいます。

この分野では、遠距離通信のテクノロジーを利用し、在宅医療患者支援のためのシステムづくりがすすめられています。よりよい仕組みを在宅や看護ケアの現場に取り入れ活用させることが我々の使命となっています。

リウマチと家族と看護の広場

▶<http://www.ranurse.jp/>



▶国際地域看護 教授 森口育子

「地域看護コーディネーター指導者研修」を毎年インドネシア・スラバシに出向き行っています。世界最高水準に達した日本の経験を生かした教育を、現地の教育者や看護職へ行っています。

国際地域看護

世界最高の健康水準に達した日本の経験を生かす



2010年1月17日 発行

地域ケア開発研究所
明石市北王子町13-71
兵庫県立大学明石キャンパス内
TEL:078-925-9605(代表)